



株式会社キクシマ SDGs宣言

株式会社キクシマは国連が提唱する「持続可能な 2030 年までの開発目標 (SDGs)」に賛同し、
“人と街が輝く未来”の実現に向けた企業活動をもって、
地域の皆様と力を合わせながら、17のゴールの目標達成に貢献して参ります。

2021年1月1日
株式会社キクシマ
代表取締役 菊嶋 秀生

街に輝きをもたらすものづくり

Purpose

キクシマがこれから手掛けてゆくもの～持続可能性のある、輝く街づくり～

キクシマは、社会問題の一つとなっているストック住宅、いわゆる「空き家」の再生・再利用により、4つの項目を2030年の達成目標といたします。



教育・福祉施設等の建設

幼稚園・保育園等の教育施設や老人ホーム等の福祉施設の施工実績が多数あります。
施工に当たっては住む人・使う人にとっての心地よさを第一として、お施主様の思いを反映させることを大切に参りました。

地球環境に配慮した住宅づくり



断熱材の取り付けや窓の取り換えにより断熱性を高め、また、太陽光発電システムによりエネルギー付加の軽減や二酸化炭素排出量の軽減、蓄電池設置による再生エネルギーの使用ができる住宅に再生します。

子育て支援型住宅(共同住宅)づくり



ひとり親家庭などの方向け入居型の住宅として再生します。託児所や学童施設を併設した住宅とし、ひとり親の方の社会復帰を支援するだけでなく、地域の方々にも参加していただきながら、帰りの遅い親御さんに代わり定期的な勉強会や教育、食事の提供や遊戯など、質の良い教育や自立支援もおこなえる建物に再生し、再利用します。

リノベーション事業

長く住んで来た家で、これからは快適に過ごしてゆけるように。
昨今高まっているリフォーム・リノベーションの需要に対して、キクシマでは注文住宅同様、こだわりの空間づくりと使いやすさ・丈夫さを両立することを第一としています。



地域の防災拠点となる建物づくり

社会問題となっているストック住宅(空き家)を地域の防災拠点とし、耐震補強工事の実施により地震に強い建物に再生し、太陽光発電システム、蓄電池の設置により再生エネルギーを利用して停電時でもある一定の電力をまかなえる設備を設けます。災害備蓄品なども常備した防災拠点として地域の方が安心できる建物に再生し、再利用します。



IOTを活用した再生住宅

住宅設備や家電などにインターネット接続し、一台のタブレットにて遠隔操作ができる住宅づくりを目指します。
自らや家族の健康管理、高齢者支援、介護支援など幅広く利用できることから、これからの暮らし方として需要の高まりが望める IOT活用住宅へと再生し、再利用します。



製造工程にサステナビリティを

Means

現場運営による取り組み

- LED器具の使用率UP 【現場照明】現在 80%→年間 90%以上へ
- 排ガス対策型機器の使用率UP 【仮設照明】現在 35%→年間 70%以上へ
- 産業廃棄物処理の削減 【廃棄率】前年度実績に対して 5%DOWN
- リサイクル砥石の採用 【リサイクル率】前年度実績に対して 5%UP
- 鉄筋工事におけるアンカー定着板構法の推奨
- 型枠工事におけるフラットデッキ型枠の採用推奨
- 内装工事におけるノンフロン型発泡ウレタン材の採用
- 内装工事における自然塗料採用の推奨
- 内装工事における水性塗料採用の推奨
- 内装工事における珪藻土・漆喰採用の推奨
- 内装工事における室内環境測定の実施
- 養生材の再生材利用
- 設備配管の指定
- 協力業者様への発注規定

・・・他、様々な視点より SDGs の目標達成に即した考え方に基づき、具体的な数値目標を挙げて現場を運営して参ります。

鉄骨工場による取り組み

- 工場内照明の取替え工事により消費電力を 63%削減
- 鋼材を電炉材優先へ 電炉材使用率 30%→2 年後 30%→4 年後 100%へ
- スクラップ発生率の削減 【横浜工場】切断発注率 80%→1 年後 90%→2 年後 100%へ
- 加工図面のペーパーレス化 現在紙の使用率 90%→1 年後 50%にDOWNへ→2 年後全面デジタル化へ

工事業務の IOT 化

令和 3 年度より、社内システムを一新しました。現場に行かなくても工事管理業務が可能なシステムであり、業務の効率化・ペーパーレス化を推進します。
これによる業務改善の環を協力業者様へも拡げてゆきながら、中小規模の総合建設会社における工事業務の IOT 化を牽引してゆきます。



人に輝きをもたらすきっかけづくり

CSR

ストリートファニチャー他 CSR 活動

教育施設の建設および職員向けセミナー、建築家展、Kurashi 展、Ululu mrrting、+Life、そしてストリートファニチャー等、建築物・鋼構造物以外の部分において生活の中の豊かさを提案・提供する素敵な CSR 活動やコラボレーションを作り出してゆきます。



働きやすく、働きがいのある会社づくり

学生の職業体験など地域との繋がり、モミの木プロジェクトなど街の活性化、そして社員が個々人らしく輝ける生き方を応援してゆくために健康経営への取組みなどで社内環境や制度の見直しを繰り返し、より良い姿を模索し続けています。



パートナーシップの力で目標達成に向けて

キクシマ SDGs 基金

SDGs の目標達成の為、2021 年 3 月より協力業者様を中心としたネットワークにご理解・ご協力を頂き基金制度をスタートさせました。
工事代金の 0.1% および寄付を原資とし、SDGs の目標達成に沿った形にて “人と街が輝く未来” の実現に向けた活動に充てさせていただきます。
なお、基金の使用明細は SDGs 報告書として年に 1 回 HP 等にてご報告をさせていただきます。



SDGs 報告書

上記取組に関する経過報告を年に 1 回 HP 等にてご報告させていただきます。
報告内容・・・数値目標に対しての達成率 / 実際に行った施策の具体報告 / 基金の寄付金額 / 使用金額使途 ほか